**私見**

私は死刑制度に賛成である。なぜなら存置論にあったように、人を殺した者は自らの命をもって償うべきであると考えるからだ。廃止論には死刑は野蛮であり残虐な行為であるとの意見もあるが、残虐な行為によって人を殺した者が死刑判決を受けるので、何故そのような人物に対して死刑は残虐なものだから止めてあげようなどと情をかける必要があるのだろうか、と疑問に思った。さらに他国では、死刑制度を廃止し代わりに終身刑を用いていることが最近ではよく見られているが、終身刑に処されている受刑者が高齢になったときの医療費は税金で賄われる。そのようなことに税金を使うよりも、もっと別の事案に税金を使ってほしい。

また、世論を見てみると国民は再犯防止や犯罪抑止などさまざまな理由で死刑制度の存続を望んでいる。そのような国民の意思を政府は無視してもよいのか、ただ世界が現在そのような風潮だからという理由で死刑制度を廃止してもよいとは思えないので私は死刑制度存置の立場をとる。